

平成 26 年 1 月 15 日

1 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調。入荷量は平年並で間伐小径材の割合が増。荷動きは、好調な製品需要により製材工場の積極的な原木手当が続く。スギは柱材・中目材ともに依然応札枚数多く好調。ヒノキは土台取りの引合いが過熱気味で、4m 母屋材も好調。原木価格は製品価格の値上がりにより、じり高で推移していたが、一部材種に天井感が出て入札金額にばらつきが見られる。全般に高値のまま横這いで越年した。

群馬の製材工場はほぼフル操業の状態。原木の入荷はヒノキ以外は問題なし。在庫はヒノキ土台用が少ない。製品の販売は依然好調で、製品在庫は少ない。物が無い状況下、値上げは通りやすいが、主要顧客向けは小幅にとどめている。スギ原木は落ち着いてきており、特に 4m 中目材は買手少ない。素製協初市は買手方が少なかった。

2. 米材

米国丸太は、クリスマス休暇により生産減で需給が逼迫し、対日ソートの丸太は全て 20%アップ。カナダ丸太はオールドグロス材は払底し、完全に二次林の伐採に入っており、引続き無い物高の状態。産地の港頭在庫は、出荷が入荷を上回ったため減少しており、材待ちで滞船の様様。ウェアハウザー社の 12 月積み米マツ IS ソートは、前月比 \$ 20 アップで推定 \$ 890。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這。

国内大型港湾製材工場は年明け後も好調を維持。特に KD 製品の荷動きは好調。内陸部製材工場は、一部地域で国産材の手当が出来ず米材に回帰する動き。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 12 月入荷量は 30.7 千 m³で前月比 25%減、出荷量は 40.8 千 m³で同 13%増、在庫量は 65.0 千 m³で同 17%減。産地情勢は、ランダムレングス紙上のコンポジット価格が昨年同期とほぼ同様の \$ 390/Mfbm。ベイマツラミナは引続きタイトで更なる値上げが予想される。産地価格は KD ベイマツ・スタッド J グレード \$ 500-510/m³。SPFJ グレードは第 3QTR に比べ引合い弱い。荷動き・先行きは、先月に比べ活発、入荷減で在庫は再び低下。中国木材の値上げ発表で米材製品の値上げも通り易い状況。ドルベース価格はほぼ横這

いだが、円安でコストが上昇し動きも堅調なため、先行き円安分の価格上昇が見込まれる。

3. 南洋材

サバは、本格的な雨季で原木出材は悪い。人件費や燃油代の上昇によるコストアップに供給減が加わり、原木価格は上げ基調が続く。1月からは原木のロイヤリティが上がるため、上げ基調に拍車がかかる見込み。

サラワクも降雨により出材が減少している中、インド勢などの買付も影響し、相場は強含みが続く。製材品も横這いから強含み。PNG・ソロモンは雨期で原木出材が低迷している中で、旧正月前に中国勢が買付を強めており、価格は強含みで推移。南洋材丸太の入荷は増加、出荷・在庫は横這い。原木の販売は合板用、製材用とも変わらず。製材品は、円安の中で現地相場の上昇を受けて輸入元は値上げを唱えているが、国内市況はいまだ好調とはいえ、値上げはなかなか浸透せず。今後円安が続けば相場は強含みに転じる可能性大。

4. 北洋材

ロシア極東は冬山造材が始まっているが、暖冬の影響で雪が多く、搬出に影響が出ている模様。また、海が大荒れで大幅な配船の遅れが出ている模様。一方で国内合板メーカーの原料在庫が減少しており本格的な配船が待たれる。シベリアの冬山造材もおおむねスタートしており、年末年始にかけて日本向け配船がみられる予定。

富山新港の12月丸太入荷量は11千 m^3 （エゾマツ6千 m^3 、カラマツ0、アカマツ5千 m^3 ）、製品は4千 m^3 。価格動向は、丸太は強気配、製材品は横這い。京浜港のアカマツ輸入製品の荷動き低調だが、入荷および製品在庫が減少し始めている。国内製材工場はエゾマツ、アカマツ丸太、原板とも依然不採算。稼働状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、針葉樹合板の需要増もあり強い状況が続く。南洋材は現地が雨期で出材低調、為替の影響もあり強気での推移。米材も変わらず現地の住宅着工が好調で、円安と相まって強い状況。

11月の国内合板生産量24.4万 m^3 のうち、針葉樹合板は22.9万 m^3 で、出荷量は24.5万 m^3 と10月に次ぐ過去2番目の数量となった。このため在庫量は12.2万 m^3 とさらに低水準となった。販売価格は、需要は旺盛、出荷量は記録的な中で、配送の遅れが深刻化している。値上げは仮需を発生させ、更なる混乱をもたらしかねないことから強含みではあるが、横這いで推移しそうな気配。

国産針葉樹合板は配送遅れが深刻でパニック状態。今後1~2月が需要のピークと予想。輸入合板も引合いは活発で、特にラワン構造用、ウレタン塗装合板で玉不足状態にあり、価格も為替の影響もあって値上げが通っている。先行き針葉樹合板の需要は衰えず、しばらく配送トラックの問題は解消しそうにない。価格は強含みの横這い。輸入合板は値上げが次々と通っており、このような状態はしばらく続くと思われる。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は引続き順調。国産集成材の受注は良く、販売の荷動き・先行きともに良好。在庫状況は引続き少ない。価格は横這いだが、円安ユーロ高により原材料は高騰。国産材原木高騰により、国産材製品も高騰。消費税駆け込み・木材利用ポイントの追い風もあり、市場では欠品も出ている。現場では上棟遅れが発生し、一部では土台に外材の注入製品も増加しており、国産材離れが見られる。ここにきて木材利用ポイントにベイマツが加えられたことで、外材への注目が高まってきている。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキともに入荷が極端に減少し対応に苦慮。先行きの入荷見通しが立たない状況。造作材は、スギ、ヒノキともに建具を含み動きは順調。外材の構造材は、国産構造材の代替として外材へシフトが進みつつある。造作材はスプルー、米ヒバ、ピーラ等も入荷は薄い但し動きは良い。国産材丸太の出材減が続き、製品市場への入荷が少なく、市日でも市が成立しないケースが出始めた。産地からの製品出荷激減により、スギ、ヒノキの構造材、羽柄材の欠品が増え新規見積もりができない状況。今後先行き見通しも現状では不透明。

8. 小売

国産材の構造材はスギ強保合、ヒノキ柱は保合で土台は強保合。外材はロシアアカマツ垂木、ベイツガKD角・平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルー良材強保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹・ラワンともに保合じり高。長尺針葉樹合板、厚物合板は品薄状態で納期かかる。プレカット工場の動向は、1月の上棟は各工場ともに忙しく、2月にずれこむ状況。価格は保合。工務店はリフォーム工事を中心に契約は取れている。消費税の駆け込みは期待したほどの受注とはなっていない。

1月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	↘
北洋材	丸太	→	→	↘
南洋材	丸太	→	→	↘
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	↘
			スギ中丸太(3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	↗
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↗
		スギタルキ3.0×4.0×4m	↗	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↗	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↗	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オトワ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↗
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→